

湯河原ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



ロータリー： 変化をもたらす

第 2685回 例会
平成29年8月4日(金)
天候 晴れ
合唱 君が代
我らの生業
四つのテスト

会長 石倉 幸久

幹事 渡辺 久恭

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上566湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場 静岡県熱海市泉107 ニューウェルシティ湯河原
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

先週はまちづくりに関して、「ヒト・モノ・カネ」のハードルをどう超えるのか、というお話をさせていただきましたが、本日は、湯河原と同じ温泉地におけるまちづくりの事例を一つ紹介させていただきます。

玉川温泉や乳頭温泉というご存知の方もいらっしゃると思いますが、そうした温泉郷を抱えている秋田県の仙北(せんぼく)市は、年間観光客が600万人も来ているそうです。では、この仙北市がどうやって観光客を呼んでいるかということ、市をあげて「医療ツーリズム」の振興に取り組んでいるわけがあります。玉川温泉は、アクセスの悪い山奥の温泉郷ですが、戦後、癌に効くということで湯治客が殺到したそうです。ところが、2011年の震災に続いて、2012年には雪崩死亡事故が発生して、それ以降冬は国道が閉鎖されることになってしましまして、宿泊施設の経営は大ダメージを受けたと聞いております。こうした状況を打開するため、仙北市は、湯治場としての強みを活かして観光集客の立て直しをすべく、医療ツーリズムの振興に力を注ぐ地域として「国家戦略特区」の指定を申請致しまして、2015年に見事、特区の指定を受けたわけでありまして、仙北市の担当者は以前の取材に対して、「温泉浴や飲泉、その土地の自然環境、食事等が統合されて行われる温泉療法を想定しており、旅行をかねて湯治にいらっしゃる方々の健康回復や健康増進を図ることを目指していきたいと考えています」と話しております。

この構想は、古くからの湯治場であった湯河原の活性化を考えるにあたって、非常に参考になるものだと思うわけでありまして。

私も一昨年、湯河原の姉妹都市であるイタリアのティボリ市に行って、市内を視察してまいりましたが、大規模な温泉医療施設がありまして、大変印象に残っております。

今度ごごめの湯で温泉泥パックが始まりますが、泥パックだけに留まらず、「健康になれる温泉」ということを大々的に打ち出して、町の活性化に繋がれたらと考えております。

首都圏からの距離が近くて、自然豊か、静かな環境、ということで湯河原は古くから湯治場として愛されてきたわけですが、そういった強みを活かしつつ、「健康」をキーワードに、熱海や箱根との差別化を図ることが出来るのではないのでしょうか。

また、こういった方向性で行くとなると、今非常に良い追い風が吹いております。

先程ご紹介した仙北市だけではなくて、神奈川県も、県全域が「ヘルスケア・ニューフロンティア」の実現を目指す地域として、国家戦略特区の指定を受けております。そして、その「ヘルスケア・ニューフロンティア」を実現させるための大きな柱として「未病の改善」が掲げられております。

先日横浜で、神奈川県商工会連合会の集まりがありまして、湯河原町活性化のための取組みを黒岩知事に説明したのですが、その際知事からは、「とにかく未病の拠点整備を早くやるように」と強く要請されました。

「湯河原は温泉地なのだから、未病の拠点を作るのにぴったりだし、そうすれば温泉地としての差別化もできるだろう」と大変熱弁されまして、私も驚いてしまいました。

これは別の言い方をすれば、「未病と絡めた湯河原の活性化アイデアを持って来れば、然るべき金はつける」ということだと私は解釈致しました。ですから先程、非常に良い追い風が吹いている、と申し上げたわけでありまして。

こうしたチャンスを逃さず湯河原を活性化させていくために、是非我々が知恵を出し合って、どんどん行動に移してまいりましょう。

出席報告	ゲスト 2名	ビジター 1名	会員24名
	欠席6(免除者2名)		前回の修正出席率95.83%
	出席率81.82%		前々回の修正出席率95.83%

事前メイクアップ 1名

ゲスト ケヴィン・アンドリュース・エラゾ様
湯河原町消防本部警備第3部隊
情報指令小隊主任 内藤修様
ビジター 青木義美君(熱海南RC)

ロータリー米山記念奨学会より

1. 財団設立50周年記念式典のご案内

日時：2018年2月4日(日)

第1部フォーラム 10時30分～12時15分

第2部祝賀会 12時30分～14時30分

場所：グラントニコウ東京台場 パレロワイヤル

登録料：10,000円

登録締切：9月30日

土肥会より

1. 開運出陣祭後援のお願い(名義の借用のみ)

連絡事項

1. 次週は、祝日休会となります。

夫人誕生日 深澤昌光君 (8/3)

入会記念日 室伏 学君 (1年・H28.8.5)

高知尾朝行君・石田浩二君

7月29日、サンバパレードが無事終了致しました。

望月博文君

湯河原町広報誌に湯河原町消防団協力事業所で表彰されました。

深澤昌光君

やさ国際交流で、7月31日から8月6日までホームステイしていますケヴィン・アンドリュー・エラゾ君と一緒に出席しました。よろしくお願いたします。

西山敦君

8月1日・2日、五所神社例祭が無事終了しました。

室伏学君

母校早稲田実業が高校野球西東京大会で準優勝となりました。

卓話

湯河原町消防本部警備第3部隊

情報指令小隊長 内藤修様

湯河原町四季彩のまち出前講座

「家庭内に潜む危険」

～救急事故原因・出火原因～

講義内容

家庭内で発生する負傷事故は、階段や床等での転倒・転落事故から食事中の窒息、ガスの漏洩による中毒事故まで様々あります。

ここでは国民生活センターの全国から収集した情報を基に、過去に発生した事故事例の一部を紹介しながら応急処置、対処方法等を説明していきます。

湯河原消防管内 救急事故

・全救急件数	2650件
・一般負傷件数	500件 ↓ <約7割>
・65歳以上	390件 ↓ <約6割>
・家庭内の事故	209件

救急事故による傷病程度

・軽症(入院を必要としない)	82件
・中等症(3週間未満の入院が必要)	102件
・重症(3週間以上の入院が必要)	13件
・死亡(初診時死亡)	5件
・その他(病院以外への搬送等)	7件

高齢者救急事故の特徴

高齢者と呼ばれるようになる65歳以上の方でも元気で活躍している人が沢山いますが、現実には身体機能はだんだんと低下しており思わぬ怪我を負ったりします。

特に家庭内での事故の割合が多く、怪我をすると重い症状になりやすく治療にも時間がかかります。生活の質(QOL)を確保するために**事故予防が大事**です。

講義内容

- 1 転倒・転落
- 2 溺死
- 3 熱傷
- 4 窒息
- 5 入浴剤での転倒事故
- 6 暖房器具での事故(低温火傷・中毒)

事故例 ケース1 転倒・転落

自宅の2階から階段を降りようとして転落。1時間後家族により発見されて救急搬送される。

診断「大腿骨骨折、頭部打撲」
重傷

階段や廊下等の転倒予防

- 「段差」を無くす事がポイント
- ・玄関等段差が大きい所には敷台を置く。
 - ・「手すり」と「照明」の設置。
 - ・敷居等は目立つよう色分けする。
 - ・滑り止めワックスの活用。
 - ・カーペットや絨毯は部屋全体に敷く。
 - ・電気コード、小物等の収納場所に注意。

講義内容

- 1 転倒・転落
- 2 溺死
- 3 熱傷
- 4 窒息
- 5 入浴剤での転倒事故
- 6 暖房器具での事故(低温火傷・中毒)

事故例 ケース2 溺死

入浴中、水面に顔を付けて意識消失。家族が発見し救急搬送される。

診断「死亡」
救急搬送したが10分後死亡診断。

浴室での溺死の予防

- 「転倒予防」と「温度差」がポイント
- ・「石鹸」「湯」「小物」浴室は滑りやすい！手すりの設置。
 - ・浴室マットは排水口を除く全体に。
 - ・脱衣場も含めて温度差を無くす。(一番風呂は危険です)シャワーを活用します。
 - ・給湯温度に注意しましょう。

「ヒートショック」

急激な温度変化が体に及ぼす影響のことです。室温の変化により血圧が急激に変化し脈拍も早くなります。また体温を調節しようするために血管は収縮し血圧が急激に変化するために起こります。

冬場に、暖房の効いた部屋から寒い廊下やトイレに行く時に、思わず体が「ブルブルッ!」この時の瞬間に思った以上の負担がかかっており、これを「ヒートショック」といいます。

高齢者や高血圧の人にとっては、心筋梗塞や脳血管障害などにつながり、命取りになりかねないとても危険なことです。

講義内容

- 1 転倒・転落
- 2 溺死
- 3 熱傷
- 4 窒息
- 5 入浴剤での転倒事故
- 6 暖房器具での事故(低温火傷・中毒)

事故例 ケース3 熱傷

セーターを着て台所でお湯を沸かしていたところ、衣服に着火。

診断「右半身Ⅱ度熱傷」
関節が不自由な方だったため脱衣に手間取り熱傷が広範囲になった。

衣類への着火予防

生地の裾や袖が広がった衣類は、着火しても気付きにくいので注意が必要です。
防炎性のパジャマやエプロンを使用すると良いでしょう。また、綿やレーヨン等の衣類やセーター等の起毛素材は「表面フラッシュ」と書くと着火から一瞬にして全身が炎に包まれる現象が起き易いため注意が必要です。

表面フラッシュ現象



熱傷 応急処置例

- ・靴下など衣類を着ている場合は、衣類ごと冷やす。
- ・水疱を破らないように注意する。
- ・広い範囲の熱傷の場合は、冷やすときに体が冷えすぎないように注意する。
- ・氷や氷水などによる長時間冷却は、冷えすぎでしまい、かえって悪くなるがあるので注意する。

講義内容

- 1 転倒・転落
- 2 溺死
- 3 熱傷
- 4 窒息
- 5 入浴剤での転倒事故
- 6 暖房器具での事故(低温火傷・中毒)

事故例 ケース4 窒息

老夫婦が餅を食べていて夫が餅を喉に詰まらせ窒息し卒倒。

診断「死亡」
救急搬送されるも病院で死亡診断。

窒息の予防

食事の際は、お茶や水を飲んで喉をしめらせてから少しずつ、ゆっくり良く噛んで食べる。
特に餅等粘り強い食品は小さく切ることが窒息の予防となります。

窒息 応急処置例



チョークサイン
ハイムリック法
背部叩打法

講義内容

- 1 転倒・転落
- 2 溺死
- 3 熱傷
- 4 窒息
- 5 入浴剤での転倒事故
- 6 暖房器具での事故(低温火傷・中毒)

事故例 ケース5 入浴剤での転倒

孫と入浴中、孫を抱えた時に入浴剤入りの浴槽で滑り転倒。

診断「肋骨骨折」
肋骨1本を骨折。孫は無傷であったが約3週間の治療となった。

入浴剤による転倒予防

「こまめな清掃」と「使用量」がポイント

- ・手すり、照明の設置。
- ・入浴剤に記載された注意書き(使用量)。
- ・使用後の清掃。(翌日入浴時の転倒等。)
- ・購入物ではなく、贈答品であった場合や他の家族の使用による注意喚起。

講義内容

- 1 転倒・転落
- 2 溺死
- 3 熱傷
- 4 窒息
- 5 入浴剤での転倒事故
- 6 暖房器具での事故(低温火傷・中毒)

事故例 ケース6 低温火傷

就寝中、左足に低温やけどを負った。たいたことはないとはいはくらく放置していたら、突然足が動かなくなった。

診断「重症熱傷」
重度の熱傷と診断。皮膚移植が必要になった。

低温熱傷とは

低温熱源による熱傷。長時間の低温熱源の直接接触により受傷。(4℃だと約6～10時間で受傷する。)

要因としては、熟睡していたり、体が不自由であったり、知覚麻痺、泥酔、一酸化炭素中毒、糖尿病による意識障害などの状態で、湯たんぽやホットカーペットでの受傷が多い。

受傷例 低温火傷



ネットカーペットによる低温火傷(受傷時の状態)→(回復後)

低温火傷の防止

湯たんぽに直接足を触れないよう注意。
寝ている間に触れてしまうこともあるため、できれば事前に布団を温め、就寝時は布団から出した方がよいでしょう。
低温やけどの場合、見た目はいたいたことにはさそうに見えても皮膚の深い部位が損傷していることがあります。
やけどや皮膚の変色、痛み等に気がいたら直ぐに医師に診てもらいましょう。

講義内容

- 1 転倒・転落
- 2 溺死
- 3 熱傷
- 4 窒息
- 5 入浴剤での転倒事故
- 6 暖房器具での事故(低温火傷・中毒)

一酸化炭素中毒

湯河原管内にある都市ガスやLPGには通常一酸化炭素は含まれていませんが、不完全燃焼が起きると燃焼物質の差に関係なく発生します。
昔の日本家庭ではすき間がありました。今のマンションなどは気密性が高いため、「まさか」と思うような状況でも事故が起ります。
よくいわれることですが「暖房中の「こまめな換気」は重要です。追い炊き機能があって、槽にボイラーが付いているような古いタイプのお風呂は、空気を換気する仕組みがほとんどないので、こまめな換気や、給排気設備の不備がないかなどをチェックしておいた方がよいでしょう。

一酸化炭素中毒の症状

顔の火照り感や頭痛といった段階では、ガスにさらされていると気づかないケースが多い。
例えば、暖房をしている室内やお風呂場では、温度もかなり高くボカボカしている状態であるため、フーフーしたり火照ったりしても、それがガス中毒による症状だと分からないことも多いです。また、頭痛や吐き気を起こしても、他の病気でもあり得る症状なので気付き難い。

一酸化炭素中毒の予防

- ・換気が大切。
- ・暖房器具の保守点検。
- ・閉鎖空間での燃焼。

一酸化炭素中毒 処置

一酸化炭素は無色・無臭で、気付かないうちに中毒になってしまう恐れがあります。もし、自分で少しでも「おかしいな」と思う状況になったら、すぐに新鮮な大気のある場所に移動することを心がける。

ガス漏れ 対処

- ・元栓を閉める。
- ・窓を開けて換気する。
- ・換気扇等の電気製品のスイッチは入れない。(コンセントも抜かない)
- ・火気厳禁
- ・通報

高齢者の家庭内事故の特徴1

- ◎ 怪我が多いものは、打撲・挫傷・刺傷・切傷・骨折・熱傷で、特に骨折は20歳以上から65歳未満の件数の2倍以上となっています。
治療に長期間を要する重い怪我也も骨折が1位となっています。
- ◎ 怪我の原因となった場所は、階段が最も多く、次いで床、ベッド、浴室設備の順となっています。
(編集長兼センター長 三浦 隆)

高齢者の家庭内事故の特徴2

- ◎ 事故のきっかけは、転倒と転落を合わせた割合が約6割で年齢が高くなるにつれて多くなっています。
階段等のほか、立ち上がりたり普通に床を歩いていると転倒が多いのも特徴です。
- ◎ 死亡の原因が多かったものは熱傷で、浴槽内への転落や着衣への着火によるものです。

(国民生活センター調べ)

火災

総務省消防庁によると、
平成27年全国出火数は39111件、建物火災は22197件、死者数(自殺者除く)は1563件です。
平成28年全国出火数は36773件、建物火災は20964件、死者数(自殺者除く)は1445人とされており、これを比較すると全て減少傾向となっております。しかし、...

平成27・28年 火災件数比較

	平成27年	平成28年	前年同月比
総出火件数	39111	36773	-6.0%
火災による死者	1563	1445	-7.5%
火災による負傷者	6309	5859	-7.1%
住宅火災による死者	914	879	-3.8%
65歳以上の高齢者死者	611	612	0.2%

タイトルを入力

ここ数年、火災総数減少は減少傾向にあり、それに伴い相対的に死者・負傷者数も減少しています。
しかしながら注目すべきは、高齢者の死者のみ増加している点です。これは高齢者の住宅火災による死者数は激増していることを示しています。

平成28年 出火原因

1位は「放火」(5773件)
2位は「タバコ」(3473件)
3位は「こんろ」(3122件)

「放火」における出火予防

毎年、出火原因の上位の「放火」は、最近では無差別なものも増加しております。
「放火されない環境」をつくる事が大切です。

- 1 家周囲に物を置かない。
- 2 物置、車庫等は施設する。
- 3 防犯灯の設置。
- 4 郵便受けに新聞チラシをためない。
- 5 車のシート等は防火製品を使用する。

「タバコ」における出火予防

- 1 寝たばこをしない。
- 2 吸殻を溜めない。
(特にガラス製の灰皿は熱により割れ、他の燃焼物に着火する恐れがあります。)

微小火源



道具に誤って煙草を挟み挿入れら出火。

ガラス製の灰皿



溜めた吸殻に着火しガラス製の灰皿が割れ、煙の深部へ燃え込んで行く。

「こんろ」における出火予防

「天ぷら油火災」

- 1 油を使用中にはその場から離れない。食用油は約350℃で発火します。(10分以内)
- 2 ガス台周囲の整理整頓。魚焼きグリルの油。
- 3 消火器の準備。

「天ぷら油火災」消火(悪い例)

- 1 水を掛ける。(拡大、熱傷)
- 2 鍋を移動する。(拡大、熱傷)
- 3 座布団や毛布を掛ける。(冷却効果なし、拡大、熱傷)

ではどうしたらよいか、...

「天ぷら油火災」消火(良い例)

強化液消火器または粉末消火器が適しています。
粉末消火器も十分な消火能力がありますが、強化液消火器の方がより冷却効果が高く、粉末による視界の妨げも少なく鍋に命中させることができるため、台所に設置する消火器は「強化液消火器」がおすすめです。
(粉末消火器も有効です。)

トラッキング現象

電気コンセントを長期開放したままにすると隙間に埃が溜まり、その埃が湿気を帯びると小さな放電が繰り返して発生します。すると付属するプラスチック部品が炭化、炭化した部分は通電し、熱いため本来通電しない部分に電気が流れ発火する現象のこと。



トラッキング現象 防止

- こまめな清掃。特に冷蔵庫や電子レンジ等台所(多湿)に設置される大きな製品はコンセントがさしたままとなりがちです。
- トラッキング防止グッズの活用。

電気コードからの出火

電気製品に付属する電気コードを輪ゴムやビニールテープ等で折り畳んで使用すると電気コードが発熱し、接している電気コードの被覆から発火する。



電気コード出火 防止

- 1 電気コード類は束ねず使用する。
- 2 電気コードを強く折り曲げたり、タンス等の重量物の下敷にならないように十分注意する。

住宅用火災警報器

すべての居室と階段の上部および階段のある場合に設置します。
③階段での場合は、階段の両側の階梯にも設置します。



ご清聴感謝致します。

出前講座「家庭内に潜む危険」
～救急事故原因・火災原因～